

年度 管理建築士講習受講申込書

※受講番号

私は、管理建築士講習の受講申込にあたり、申込書に記入した事項、添付した書類の内容が真実で、かつ、正確であることを誓います。
 また、この申込書及び添付書類の内容に、真実と相違する部分がある場合には、講習の修了を取り消されても存ありません。
 私は、業務経歴証明書の業務期間内に建築士又は管理建築士として処分を受けていないことを誓約いたします。

年 月 日 特定非営利活動法人 埼玉土建建築支援センター 理事長 殿

講習会場 埼玉土建技術研修センター 講習日 平成 年 月 日

フリガナ 旧姓
 氏名(自署) 上記誓約に偽りはありません。

生年月日 平成 昭和 年 月 日 年齢 性別 本籍地
 大正 才 男・女 都 道 府 県

現住所 〒 都 道 府 県 [電話 () -]
 緊急連絡先(携帯電話等) [携帯 () -]

勤務先(部署名まで) 勤務先所在地(勤務先電話) 〒 都 道 府 県 [電話 () -]

管理建築士の有無 1. 管理建築士である 2. 管理建築士ではない

建築士資格 *該当する資格ひとつに○を付けて下さい。
 二級・木造建築士のみ記入 建築士登録番号 建築士登録年月日
 登録都道府県 北海道・兵庫県のみに記入
 1. 一級建築士 都 道 府 県 第 号 昭 和 平 成 年 月 日
 2. 二級建築士
 3. 木造建築士

無帽・無背景・正面上3分身の証明写真で、申請前
 写真欄
 縦4.5cm×横3.5cm
 のりを全面に
 (録の大きさは点線部分程度のも
 とすること)

年 月 撮影

※出席表(出席○、欠席)
 午前 午後 修了

(きりとり)

年度 管理建築士講習 受講票

※受講番号	
※講習日	
※講習会場	埼玉土建技術研修センター
フリガナ	
氏名(自署)	
性別	生年月日
男・女	平成 昭和 年 月 日 大正

無帽・無背景・正面上3分身の証明写真で、申請前
 写真欄
 縦4.5cm×横3.5cm
 のりを全面に
 (録の大きさは点線部分程度のも
 とすること)
 年 月 撮影

記入上の注意等

- 1、太枠内の各項目を正確に記入して下さい。(※印の欄は記入しないこと)
- 2、記入は黒か青のボールペンで丁寧に書き、数字は算用数字を用い該当するものは○で囲んでください。
- 3、添付書類(建築士免許証等の写し)はB5版に縮小し裏面の所定欄に貼付して下さい。
- 4、二級又は木造建築士を有する方のうち、北海道又は兵庫県で登録している方で、支庁名又は登録機関名がある場合には、裏面の該当する支庁名又は登録機関名から選択し記入して下さい。

証明書等 貼付欄

証明書等のおもてが上になるように貼付して下さい。

(建築士免許証の写しはB5版に縮小して貼付して下さい。)

(建築士事務所登録申請書(副本)の写しを添付する場合はB5版に縮小して貼付して下さい。)

戸籍抄本又は、謄本 貼付欄
(個人又は、全部事項証明証)

証明書等の氏名が婚姻等の理由により変更となっている場合に貼付して下さい

二級建築士・木造建築士登録
支庁名、登録機関名

北海道	
支庁名	支庁名
石 狩	宗 谷
渡 島	網 走
檜 山	胆 振
後 志	日 高
空 知	十 勝
上 川	釧 路
留 萌	根 室

兵庫県	
登録機関名	登録機関名
神 戸	竜 野
阪 神	上 郡
明 石	八 鹿
三 田	豊 岡
社	浜 坂
加古川	柏 原
姫 路	洲 本

注意事項

振替払込受付証明書
(お客様用) 貼付欄

この点線内に「振替払込受付証明書
(お客様用)」(郵便局の受付日附印の
あるもの)を全面のりづけして下さい。

- 不正の手段による受講については、講習を修了した後も取り消しとなります。
- 講義及び修了考査の時間中に在席を確認します。また、講義時間中には離席等について確認します。
離席等の時間が一定時間を超えた場合には欠席扱いとなります。
- 講義の一部でも欠席した者は、修了考査を受けることはできません。
なお、講義及び講義と修了考査を別々の日で受けることはできません。
- 携行品
 - 受講票
・受講票は講義中、常に必要となりますので必ず持参して下さい。
受講票を忘れていたり、紛失したりすると、講習を受けることはできない場合があります。
・受講票を紛失した方は、講習当日、会場で再発行を行いますので、当日、受付係にその旨を申し出て下さい。その際、身分証明書(運転免許証等)の提示が必要です。
 - 筆記用具
修了考査においては、HBの黒鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴムが必要になります。
それ以外の筆記用具を使用すると採点されません。
 - テキスト
講習テキストは講習日当日に会場にて配布します。講義で使用したテキストは、修了考査での参照が可能です。
- 講習会場での携帯電話等の無線通信機の使用は禁止されています。携行する場合には電源を切ってカバン等にしまって自己管理して下さい。なお、修了考査時において、携帯電話を使用した場合には不正行為とみなされますので特に注意して下さい。
- 講習会場における飲食及び喫煙については、会場の決まりに従って下さい。